

<被災地訪問 三日目の午前 岩手県山田町>



宮古から、再び南下して山田町へ向かいます。

左：宮古港近く。ダメになった看板等が集められています。 右：山田へ向かう途中の静かな海。



山田町でも、ガイドをお願いしました。この日は読売新聞の記者がいらして、語り部さんが僕をガイドする様子取材したいとのこと。同行することになりました。僕が申し込んでいたのは、徒歩コースだったのですが、この日は取材もあるし、語り部ガイドのリーダーは、タクシー会社の社長さんでもあるので、車を出してあちこち回って下さいました。

左：少し小高くなった丘の上から。

右：以前の同じ場所の写真との比較。とても同じ場所とは思えませんよね！

社長さんの会社は、ちょうど写真の辺り、つまり海沿い。地震の後、タクシー3台をこの丘の上に移動させたのですが、会社を留守にしていることが心配で、つい丘から下りかけたのだそうです。その道すがら、知り合いのおばちゃんたちが「津波、来るのかねえ」などと話していて、自分もそこに混ざったため、幸いにも下まで下りずにいた。

そこへ津波が……。慌てて上まで駆け上がったそうです。

山田町の津波。

第一波がそれほどでも無かったので、高台に避難していた人も家に戻ってしまった人が多かったとのこと。

<http://youtu.be/KAV7SdXJzoo>

辺りで高い場所はここだけ。ここに向かって走ってきている途中で飲み込まれてしまった人をたくさん見たそうです。

高台にあった学校では、階段になっているところで、「高齢の親の手を引いて走ってきた息子、あと数歩だったのだけど、間に合わなくてその手を離してしまった。」「ここまで、この段まで来てくれば、こっちからも手を伸ばせたけど、ここより下までは行けなかった。」といった思い出したくないであろう出来事も、話してくれました。

助かった後も、ビルの屋上と同じく、陸の孤島となってしまう、しばらく動けなかったそうです。



左：海岸近くの平地は、干上がった沼地のようにになっているところも。

右：車を走らせ別の場所へ。この丘の上に学校があります。海岸から 20m くらいは高いと思いますが、ベテラン用務員さんが「ここも危ないから裏山へ！」と誘導、そのおかげで全員が助かったそうです。この時は、その裏山を切り開いて、学校を建て直す工事をしていました。

今度は、半島になっている所へ移動。ここで社長さん、表を歩いているおばあさんに声をかけました。社長さん、山田町の人は全員知り合いなのかと思うくらい、皆さんと挨拶を交わします。おばあさんは、2年半たって、もうあの日のことも普通に話せるとのこと。友人の女性が、せっかく一度避難したのに、「忘れ物をとってくる」といって家に戻り、そのまま亡くなられたそうです。「後で遺体を見ると、タコ糸をしっかりと啜えていてね。」などとお話してくれました。正直、方言がきつく、半分くらい分かりませんでした(汗)。そういう意味でもガイドさんがいてくれてとても助かります。

おばあさん「津波が引いた後、あの木の上に〇〇〇が乗っていたんだよ。半年くらいは乗ったままだったかねえ(笑)。」と。何だったと思いますか？(左下の写真)



左：〇〇〇が乗っていた木 右：津波の後の火災で焼けた木 左の答えは洗濯機。



左：社長さんが大好きだったという、この辺りの海岸。海側 右：陸側
いずれも写真の左側から津波が上がり、陸の奥まったところまでいって、右側から降りてきて、根こそぎ流してしまったそうです。

記者さんが、社長さんに遠慮なく色々質問するので、僕一人では聞けない話もたくさん聞きました。

Q：津波の後は、どうされていたんですか？

A：みんなに何が必要かを聞いて、色々物資を運んだんだよ。

水や食料が来るようになって、水をとっておくことができないから、ペットボトルが欲しいとか。服が来るようになって、下着がないとか。特に女性用の下着がなくて・・・。

盛岡まで物資を求めに行くんだけど、下着をくれる女性がなかなかなくて、

「お前が今履いているのを・・・」なんて言っちゃったよ。

でも盛岡に向かう途中、自衛隊とか消防とか、支援の車がこちらに向かってくるのを見ると、もう、うれしくてね！「おおお、ありがとう！！頼むぞ～！！」って感じだったねえ！

Q：その後、お仕事はどうだったんですか？

A：いや、もうこれは無理だろうから、廃業しようと思ったんだよ。

一週間経った頃、全員を集めてそう告げようと思って、電話をしたんだけど、

社員の一人が、もう営業を再開しちゃってさ。電話をしても「今、忙しいから後で」

なんて言うんだよ。忙しいほど仕事があるのかよと思ったんだけど、いざ再開してみると、これがあったんだ。みんな車を流されちゃってるから。

家族を探すために、あちこちの避難所を回りたいとか、病院に行きたいとかね。



左：最後に社長の会社も入っている仮設店舗横の「やまだ観光物産館」で、記者さんとお食事。牡蠣、たっぷり一袋で500円くらいだったかな。採れたてで塩味の効いた牡蠣でした。

・やまだ観光物産館「とっと」 <http://sanriku-trip.jp/archives/4282/>

右：同じく仮設店舗内の「みんなの部屋」手芸サロンらしい。

◆山田町「新生やまだ商店街協同組合・震災語り部ガイド」

<http://sanriku-trip.jp/trip/study/guide/yamada-guide/>

◆読売新聞の記事 僕は無言でうなずいただけらしい(汗)

<http://www.yomiuri.co.jp/local/iwate/feature/CO004091/20131108-OYT8T01613.html>

・こちらにも同社長のインタビュー

http://jafmate.jp/jmp/311/hachinohe_kamaishi/000.html

・語り部飲食店というものもある

<http://plaza.rakuten.co.jp/machi03iwate/diary/201301250000/>

・テレビ番組「思い込みの悲劇」山田町 (YouTube) 3, 4枚目の写真と近い所からの映像のようです。

<http://youtu.be/KAV7SdXJzoo>

→ [被災地訪問 その4 三日目の午後&まとめ](#)

HP「ジャズピアノ弾こうよ！」トップはこちら

<http://jazzpiano-hikouyo.com/>